

伝統と技術で、建物の未来を支えます

左官職人



建築現場などで壁や床に「塗り」をおこなう専門の仕事です。コテという道具を使って、土やモルタルなどの材料をていねいに塗り、表面をきれいに整えていきます。レンガやブロックの積み上げや、経験豊富な技術も必要な「飾り塗り」なども手がけます。昔ながらの土壁を塗る技術など、機械ではできない日本の伝統を守る役割もあります。建物を長持ちさせ、きれいな見た目を保つための大切な仕事です。



このお仕事について

親の紹介で入社しました。未経験だったこと、左利きなど不安はいっぱいでしたが、たよれる先輩たちが一から細かく教えてくれました。続ければ技術が身について、仕事が楽しくなります。

左官職人ってどんなお仕事をしているの？

下地塗り



下地は建物全体の仕上がりや強度に大きな影響をあたえます。下地造りがうまくいかないと、その上から仕上げて上手にできません。どんな仕上げをするにも下地が一番重要です。

仕上げ塗り



漆喰や珪藻土、モルタルなどの材料を使い、壁や床の表面を仕上げる作業です。見た目もですが耐久性も重要なので、ていねいな作業が必要です。材料の配合具合や塗り方で見た目が変わるため、絶対に手はぬけません。

工事管理



経験を積むと、複数の職人をまとめる役目もします。この役割を「職長」と言い、現場の安全管理や仕上がりチェック、資材の手配もおこないます。現場の状況を理解し、適切な指示をだせるコミュニケーション力が必要です。

この会社に教えてもらったよ！

職人の技で明日へ挑戦！

有限会社沢目左官工業所

盛岡市名須川町17-1 TEL/019-622-5945

創立/1980年12月 従業員数/13名



下地塗り



(要相談)

有限会社沢目左官工業所はこんな仕事をしています

掻き落とし仕上げ

「骨材」とセメントを混ぜた材料を塗ったあと、固まっていない状態の上から「剣山」という、先がとがった道具を使い、表面をけずって模様をつけます。



瓦屋根下の黒モルタルの補修

寺などの瓦屋根の下部分には、モルタルや漆喰を塗り、雨や風が室内に吹き込むのを防いでいます。寺院のイメージに合わせて、材料を変更します。



ブロック工事

コンクリートブロックを倒れないように積み上げます。中には鉄筋を入れて補強します。水回りや店舗などに使用することが多いです。



あづち整備

弓道場の的を掛ける土手状の盛り土を「あづち」と言います。あづちのメンテナンスができるのは、岩手県内では沢目左官工業所だけです。



社員が働きやすい環境づくりをしています

住宅手当や子供手当、育児休業などの制度が手厚く、長く働きやすい職場です。急な家族の体調不良でも休みが取りやすく、家庭を大切にしながら働けます。また、練習場で壁の塗り作業を体験できます。最初はむずかしいですが、コツをつかむと楽しいです。



こんな人も働いています！

■ ネコ部長 ソラくん ■ ネコ見習い職人 ラミちゃん